

スポーツ傷害 I		講義	教授 川崎 一郎
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12361303

1. 授業のねらい・概要

医療現場ならびにスポーツ現場で遭遇することが多いであろう下肢の傷害は、治療を誤ると後遺症になり、選手はスポーツ復帰が遅れてしまいます。したがって、的確に傷害を評価し、治療することは重要である。本授業では、下肢のスポーツ傷害の特徴や発生機転、症状、治療法、合併症などを理論的に学び、臨床現場への応用につながる知識を身につけていくことを目指す。

2. 授業の進め方

主に Power Point を用いたスライドおよび板書による講義形式で授業を行う。必要に応じて DVD などのメディアを教材として利用し、イラストを中心にわかりやすく編集された教科書を補足的に用いる。

3. 授業計画

1. オリエンテーション 2. 股関節軟部損傷① 鼠径部痛症候群、弾発股（ばね股）、梨状筋症候群 3. 股関節軟部損傷② ペルテス病、大腿骨頭すべり症、単純性股関節炎 4. 股関節軟部損傷③ 変形性股関節症、大腿骨頭壊死症、股関節の拘縮 5. 大腿部の軟部組織損傷 大腿部打撲、大腿部の肉ばなれ、大腿部骨化性筋炎 6. 膝関節部の軟部組織損傷① 発育期の膝関節障害、半月板損傷 7. 膝関節部の軟部組織損傷② 靱帯損傷 8. 膝関節部の軟部組織損傷③ 腸脛靱帯炎、膝蓋大腿関節障害	9. 膝関節の軟部組織損傷④ 膝周囲の関節包、滑液包の異常、変形性膝関節症 10. 下腿部の軟部組織損傷① コンパートメント症候群、アキレス腱炎・アキレス腱周囲炎、アキレス腱断裂 11. 下腿部の軟部組織損傷② 腓骨筋腱脱臼、下腿部のスポーツ障害 12. 足部の軟部組織損傷① 足関節捻挫 13. 足部の軟部組織損傷② 足部の捻挫 14. 足部の軟部組織損傷③ 扁平足障害 15. 後足部の有痛性疾患 前足部の有痛性疾患
--	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

各項目の要点をまとめて記述できるようになる。また、本講義で得た知識を通じて実技を実践できるようにする。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（15%）小テスト（15%）定期試験の結果（70%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

- ①柔道整復学・理論編改訂7版社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ②毎授業で資料を配布する。

9. 受講上の留意事項

携帯電話の使用，飲食，帽子の着用は認めない。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は接骨院における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。